

## IV ワークスしんあい（令和5年度事業計画/事業報告）

### 1. 令和5年度経営方針

障害者総合支援法に規定する就労継続支援B型事業、生活介護事業として適切な経営、運営に努める。利用者個々の有する能力に応じ自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようサービスの提供を目指す。また、物価高騰等、社会情勢の影響による厳しい財政状況を鑑みて経費の削減に努め、現行の運営体制、作業活動の見直しを行なっていく。

#### (1) 利用者支援

部門ごとの活動内容をさらに充実したものとなるよう、生産活動や販売活動を活発に実施するとともに余暇活動などを通じて、利用者の意欲に繋がる展開を図る。また、感染予防対策を継続し職員、利用者ともに健康維持に努めながら事業の継続性を確保する。

#### (2) 老朽化対策

利用者の高齢化が進み安全に過ごせる環境の必要性が増しており、設備面での老朽化対応のため、修繕や安全点検を実施していく。

#### (3) 福祉サービスの内容

ア 就労継続支援B型事業 利用者本人の能力と働く意欲を尊重し、委託作業や施設外就労等の訓練等の機会の設定と充実を図り、工賃向上を目指す。また一般就労を希望する利用者に対し就労支援を行なう。

イ 生活介護事業 利用者それぞれの障害特性や健康状態を把握し安全に活動できる環境づくりに努める。また、生産活動や余暇活動を通じて、自立した日常生活及び社会生活が営めるサービスを提供する。

### 2. 令和5年度取り組み

#### (1) 利用者支援

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 個別支援計画に基づく支援	(ア) 個々の特性やニーズに応じた個別支援計画の作成と柔軟な作業設定を行う。 (イ) 多様な障害特性に応じて、また高齢化に伴い適切な環境整備を行っていく。	(ア) 本人の希望に応じ職業支援を行なっているが、理想と現実のギャップが埋まらず、経験を積む必要があった。 (イ) それぞれの特性に応じた環境調整(席替え、場所の変更)を行ない、働きやすい環境を整えた。
イ 工賃支給率を基準値に戻せるよう充実した作業の取り組み	(ア) 作業収入の増額に向け作業体制の効率化を図り工賃向上を目指す。 (イ) 授産製品を季節に合わせた製品や、新商品の開発を行い、また、ホームページに掲載するなど、販売促進につなげていく。	(ア) 年間を通して収入・支出の推移をみて令和6年度よりB型事業の時給を20円増加させることが出来た。 (イ) 授産製品においては進級・進学に合わせて学校で必要な物の受注を行なっている。カーポートに置いては新規販売先を3店舗で確保している。
ウ 虐待防止・権利擁護	(ア) 虐待防止・権利擁護に関する外部研修の受講、内部研修を実施し、	(ア) 1/9 全職員対象の研修実施 3/15 現場職員と現状についての確認を

	<p>職員一人ひとりの意識の向上を図るとともに、支援の質の向上を目指す。</p> <p>(イ) 新規採用時に虐待防止・身体拘束等の適正化の研修を実施する。</p> <p>(ウ) 利用者自治会など利用者の意見や要望を聞く機会を設定しより良い環境を構築する。</p>	<p>行っている。</p> <p>(イ) 非常勤職員職員 1 名採用。採用時に虐待についての動画視聴を行なった。</p> <p>(ウ) 個別に困りごとを聞き、随時対応を行なった。(環境に対しての不満等)</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

## (2) 人材育成

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5 年度実績
ア 研修への参加	(ア) キャリアパスに則した研修や、部門別研修に参加し専門的知識を身に付け資質の向上を図る。	職員不足の為、実施出来ていない。
イ 部門別会議の開催と年間計画に沿った実践	<p>(ア) 定期的な班別会議を実施し、職員間の連携強化を図る。</p> <p>(イ) 年間計画を作成し効果的な運営に繋げる。</p> <p>(ウ) ケース検討会や調整会議を開催しそれぞれの利用者に適した支援を行なう。</p>	<p>(ア) 3 か月に1度程度行ない、効率の良い作業や職員間の情報共有を行なった。</p> <p>(イ) 年度当初に立てた計画を基本的に行なったが人員配置に変更があった為、必要最低限となってしまった。</p> <p>(ウ) 職員会議にて課題のある利用者への対応について話し合いの機会を持ち、対応を行なった。</p>

## (3) 施設設備管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5 年度実績
ア 設備・備品の修理及び更新	(ア) インボイス制度に対応した事務処理を行う。(カーロ・ひととき)	(ア) 購入済
イ 設備の老朽化に伴う点検や修繕、及び整備	<p>(ア) 就労棟、生活介護棟の水道蛇口の交換</p> <p>(イ) 老朽設備の点検や修繕など施設整備を検討していく。</p>	<p>(ア) 実施済</p> <p>(イ) 必要な物については適宜対応し修繕を行なった。</p>
ウ 給食・食品衛生	HACCP 衛生管理計画に基づき食品製造、調理を行ない安全に実施する。	安全に行なえた。

## (4) 危機管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5 年度実績
ア リスク管理	<p>(ア) ヒヤリハット報告事例から事故を未然に防ぎ安全に過ごせる環境を整備する。</p> <p>(イ) ストレスチェックの実施による働き</p>	<p>(ア) 報告のあがっていない事象があったので改めて報告をするよう促していく。</p> <p>(イ) 高ストレス者は出ておらず、他事業所と</p>

	やすい職場環境の創出、職員のメンタルヘルスケアを図る。	比べても良い結果となっている。
イ 防災・防火対策	(ア) 消防計画を基に消火訓練・避難訓練を実施。 (イ) 災害時の業務継続計画(BCP)の作成を行う。	(ア) 訓練 2 回実施。実際に地震があった時にすぐに動けなかったので継続して行っていく。 (イ) 作成済み。人事異動で職員が入れ替わるので随時更新を行っていく。
ウ 安全運転管理	(ア) 定期的な車両点検及び整備を実施し安全走行を維持する。 (イ) 事業所内での運転者の酒気帯びの有無の確認を徹底する。(道交法改正に伴う)	(ア) 実施済み  (イ) 乗車時は実施している。

#### (5) その他

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5 年度実績
ア 地域社会との共生	(ア) 地域貢献を念頭に地域との連携を図ることで福祉拠点としての役割を果たす。 (イ) 実習生、ボランティアを受け入れ、障がい者の理解を深めてもらい、後進の育成に努める。	(ア) ひとときを通じて催し物を行ない、普段より安価で商品の提供を行ない、喜ばれている。 (イ) 他事業所の実習生見学を丁寧に行ない、理解を深めてもらう様に対応している。
イ 地域活動への参加	(ア) 感染対策を徹底しつつ地域での販売、行事等へ積極的に参加する。 (イ) 地域活動を通じて、利用者の社会参加と地域の方たちとの触れ合いの機会を支えていく。	(ア) 年間を通して販売行事への参加を行ってきた。 (イ) 今年度より開催回数が例年通りに戻り 11 回の開催となった。他事業所に職員派遣を依頼しながら実施出来ている。

1 利用者状況

(1) 障害支援区分(名)

支援区分	生活介護			就労継続		
	男	女	計	男	女	計
区分6	8	3	11	2	0	2
区分5	6	2	8	1	0	1
区分4	5	1	6	2	1	3
区分3	0	0	0	2	0	2
区分2	0	0	0	0	1	1
区分1	0	0	0	10	1	11
なし	0	0	0	0	0	0
合計	19	6	25	17	3	20

(2) 年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未満	20歳以上 ~30歳未満	30歳以上 ~40歳未満	40歳以上 ~50歳未満	50歳以上 ~60歳未満	60歳以上	人数 合計	平均 (歳)
		就労 継続 B型	男	1	5	4	4		
	女	0	0	0	2	1	0	3	45.6
	計	1	7	3	5	2	2	20	-
生活 介護	男	0	3	4	4	2	6	19	48.8
	女	0	2	0	0	2	2	6	47.6
	計	0	5	4	4	4	8	25	-

2 事業所状況

(1) 各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
就労継続支援 B 型	20	14.7	73.3
生活介護	20	19.8	94.5

(2) 実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	1ヶ所	2	9